

FUREAINO MACHIZUKURI

滴翠会会報

2018
月刊

2月号

第326号
平成3年1月創刊

社会福祉法人 滴翠会



節分 豆まき

節分

記録的な寒波が日本上空に停滞し、各地で大雪や凍結などが相次いで報告され、厳しい寒さになっています。暦の上では春が始まる立春ですが、一年でもっとも冷え込む時期で、また、インフルエンザを始め感染症も流行して、注意が必要です。

そんな感染症や寒さに負けじと、2月3日に滴翠会の各施設で「鬼は外！福は内！」と大きな掛け声と共に節分が行われました。威勢が良く元気な声で現れた鬼に向かって豆を撒きます。豆を撒き終わった後の皆さんの表情は非常に晴ればれとされていました。

大きな掛け声は病を払い、たくさんの元気と幸福を呼んでくれたと思います。無病息災を願い、皆さん元気に明るい春をお迎え下さい。



新年会の獅子舞

●養護老人ホーム
てきすいえん
滴翠苑だより

かすみがうら市横堀四五―一五
TEL 〇二九九―五九―三六三一

新年会

1月18日に滴翠苑集會室で新年会が開催されました。

滴翠会会長、利用者代表による挨拶の後、乾杯して今年1年の健康を祈願しました。その後毎年恒例の男性職員による獅子舞です。獅子の華麗な舞を披露した後、利用者の頭を噛んで邪気を払ってもらいました。

余興は、ボランティアの千代田舞踊連合会の皆様の舞踊です。昔懐かしい曲に合わせて優雅な舞を披露して頂きました。また、どじょうすくいの踊りはとてもユニークで利用者に笑顔がこぼれました。どの踊りもとても素敵で演武の都度拍手が生まれ、皆さんとても楽しんでいらっしやいました。

今年も職員一丸となり、利用者の皆さんが楽しんで参加できる行事を企画していきたいと思えます。

介護力向上研修会を受講して

支援員 石塚恵美子

1月31日に茨城県総合福祉会館で介護力向上研修を受講してきました。

研修テーマは、「身体的自立支援の基礎知識と理論」で講義とグループワークで学んできました。

今回の研修では、特に利用者との支援者の視点の違いを感じた時には、まず利用者の視点に立って物事を見てみる事が大切という事や身体介護でも認知症介護でも、水分、食事、排便、運動はとても重要なことであり、特に高齢者は一日1500mlの水分を取る事が良いという事で、とても勉強になりました。

介護の職に就いてまだ数ヶ月なので、今回の研修で学んだ知識を日々の業務に活かしながら、利用者の目線に立った支援を心掛けて行こうと思えます。



節 分

節 分 祭

2月3日の節分の日に年男と年女の3名の方が豆まきを行いました。

寒波の影響で例年よりも気温の低い中、苑庭で行われた豆まきでは、赤鬼と青鬼のお面を付けた鬼役の利用者様が元氣よく手作りの金棒を天に掲げ向かってきました。そこに「鬼は外、福は内」と大きな声で豆をまき鬼は退散していききました。

その後、集會室に皆様集まり福茶とゼリーをいただきました。滴翠苑の福茶は、豆茶と緑茶をブレンドしたもので、素朴な味でしたが皆様「おいしかったよ」「体が温まるね」「もっと飲みたかった」など感想を述べ満足な表情を浮かべていました。

最後に、無病息災で大きな福が訪れるように全員で祈念して節分祭を終りました。

雛人形飾り

節分も終わり、ひな祭りに向けて集會室に雛人形を飾りました。女性の利用者の方々は楽しみなようで数名の方が飾り付けをお手伝いしてくれました。「家の雛飾りは何段だった」とか「ひな祭りの出来事」など子供の頃の思い出に花を咲かせながら楽しく飾りました。

飾り終わると、集會室も華やかになり、「綺麗だね」「ひな祭りが楽しみ」などの声が聞かれ表情もにこやかでした。

今年は寒さも厳しくインフルエンザも猛威を振るっています。皆さん元気にひな祭りを迎えて欲しいと思います。

❀職員研修・会議

介護力向上研修会

1月31日

❀2月の行事

節分祭

2月3日



初 釜

●救護施設
慈翠館じすいだより

石岡市半ノ木一―四六一
TEL〇二九九―二四―二八七一

初 釜

慈翠館では、毎週茶道と華道の指導が交互に行われています。新年初めての茶道指導が11日にあり、初釜が行われました。いつもと少々異なる雰囲気のためか、皆さん少し緊張した表情をされていました。

茶道指導では、お茶の点て方や礼儀作法・使用する道具の名称などを学び、お茶をひとりずつ点てていきます。全ての作法を覚えるのも大変で、何よりお茶の温度が少し違うだけでも上手く点たなかったりと難しい所がいっぱいあります。皆さん一生懸命に覚えようと頑張っています。

頑張って綺麗なお茶を点てられると、「とても上手に点てられたね」と先生から褒めて頂けます。上達を感じて、より一層美味しいお茶を点てようとしてからも精進を重ねていきます。

焼 き 餅

寒さが深まるこの時期、利用者の皆様は、目の前の熱気と共に丸くふくらんでいく白いものに釘付けになります。その白いものの正体はお餅で、今年も焼き餅が食堂で行われました。

カセットコンロの上に網を敷いて焼きあがるまでの間、皆さん非常に待ち遠しそうな様子でした。「もういいんじゃない？」や「早く食べようよ」と、すぐにでもお餅を口にしたい方もいらっしやいました。

焦げ目がついて、ふっくらと焼きあがり、磯辺味ときなこ味に味付けをしたらいよいよ実食の時間です。お餅を喉に詰まらせない様にゆっくり食べて頂くよう説明をし、2つの味のお餅を楽しんでもらいました。息を吹きかけながらおいしそうに頬張る姿を見ると、お餅の味は格別なようでした。



シルバーリハビリ体操

シルバーリハビリ

慈翠館では、1ヶ月に一度シルバーリハビリの講師の皆様をお呼びしてリハビリ体操を実施しています。

初めは手をグー・パーさせたり足踏みを行う等体に負担の少ない運動を中心にしています。しかし、鼻と耳を合図と同時に逆の手で掴みなおす等あべこべな運動も混じると、中にはお手本とは異なる動きをしてしまつて混乱してしまう人もいました。体操を進めるにつれて手・肩や身体を大きく回す・ひねる等の体全体を使ったより負担の大きい体操にも取り組み、最後に発声練習を行つて終了しました。

運動を終え、利用者さん達は表情が生き生きとされてきました。身体を動かす事は健康寿命を延ばす事にも繋がります。講師の皆様、いつも体操を指導してくださいましてありがとうございます。

節分

お正月から1ヶ月経つ頃、季節の分かれ目とされる節分がやってきます。節分は昔、都を荒らしていた鬼を豆を撒くことよつて退治したとされ、古くから続く行事です。豆の代わりに米や麦、炭などを使用する地域もあるそうです。

慈翠館では、利用者の代表として年男の2名の方が玄関など7カ所豆を撒きました。大きな声で「鬼は外、福は内！」と掛け声をあげて豆を投げ、中には「福は内！」と幸運を願う為縁起の良い言葉のみを言われる方もいました。

＊職員研修・会議

ファシリテーション研修

1月29～30日

＊2月の行事

節分	2月3日
焼き餅	2月8・14・20・28日
みどり会レクリエーション	2月17日



節分

●特別養護老人ホーム
めいすいえん
明翠苑だより

石岡市半ノ木一―四八―一―
TEL〇二九九―二三―九六二〇

節分

2月3日「節分」は、明翠苑でも毎年恒例の行事になっています。

玄関など計五カ所の出入り口には、魔除けとして「やいかかし」を飾りました。

午前中は、年男の職員が石岡市内の常陸國総社宮へ行き、お祓いを受けました。また、総社宮からいただいたきた御札・御神酒・福豆は明翠苑の玄関のお地藏様にお供えました。

午後からは、利用者の皆さんと一緒に豆まきです。職員を鬼に見立て「福は内、鬼は外」と元気に豆をまきました。

そして、午後のおやつには福茶とお饅頭を召し上がっていただき、無病息災を願いました。

明翠苑には鬼を寄せつけず、たくさん福がくるよう今後も行事をしていきたいと思えます。

図上訓練

1月25日「図上訓練」を行いました。今回は、石岡市の土砂災害対策の資料に基づき、施設での対策等を防災担当者を中心に話し合いました。

職員ひとり一人が防災意識をもって、これからも利用者の皆さんが安心して生活できますよう日々訓練してまいります。

感染症

明翠苑では、インフルエンザやノロウイルス等の感染症対策として、手洗い・うがい・手指消毒や各居室の湿度調節を徹底して行っています。受診などの外出時は、マスク着用などをして感染症の予防をしています。1月31日現在、インフルエンザにかかっている利用者の方はいませんが、今後も十分に注意してまいります。

ふあみり一通信

1月の出来事

- 1月1日 「年頭の辞」が行われ、皆さんで新年を祝い、挨拶をかわしたり写真を撮りました。万寿会会長の挨拶では、今年も楽しく生活していきましょうと利用者の皆さんにお話がありました。
- 1月5日 「座談会」を行い、改めて皆さんが集まる場で、新年の挨拶やこの時季に注意してほしい感染症予防方法などお話をしました。
- 1月15日 「小正月」で昼食に、小豆粥の特別メニューを召し上がって頂きました。
- 1月18日 昼食に「お刺身」が出ました。皆さん「美味しい」と召し上がられていました。
- 1月22日 全国的に雪が降り、明翠苑でも雪景色となりました。皆さんもこんなに雪が積もったのは、久々だと話されていました。

明翠苑ニュース

(1月分)

面会	25件	延45名来苑
外出	0件	外泊1件
ショートステイ	8名	延52日利用

明翠苑の「日常あ・れ・こ・れ」

冬季防災訓練

今回は、冬季防災訓練についてお話ししたいと思います。

明翠苑では、月に一度行っている避難訓練ですが、冬季は感染症の予防のため自粛しています。その代わりとして職員による「図上訓練」を行っています。適切に防災機器を使用することで、「いつでも扱えるように」を目的としています。

また、新任の職員に対しては東日本大震災時の事例を防災担当者からお話ししたり、個別的にも指導をしています。実際に①防災設備の設置場所、②防災設備の取り扱いと管理方法、③避難・避難誘導時の注意点、④緊急時の連絡網を使用した連絡方法などを中心により深く理解してもらいました。

11月は「浸水時の対処法」を行い、水中ポンプの使い方、土嚢の積み方などを行いました。12月は「風害時の対処法」を行い、竜巻などを想定して話し合いを行いました。1月は「土砂災害時の対処法」を防災担当者を中心に話し合いを行いました。

震災に関する訓練に備え過ぎはありません。

明翠苑では、皆さんの健康管理はもちろんのこと、もしもの時の身の安全を守れるよう努力しています。今後も訓練を怠らずに備えていきます。



レクリエーション 福笑い

●デイサービスセンター
華翠会館だより

石岡市半ノ木一四八〇
 TEL〇二九九―二三一八二〇〇

利用者数 12名(男3名 女9名)
 レクリエーション すごろく

今日は、正月の遊びということですごろくを行いました。2人1組になり、大きなサイコロを投げて出た目の数だけ駒を進め、駒が止まったところに書いてあることに従いながら進めていきます。大笑いしたり、「スタートに戻らなきゃならないの…」とため息をついたり、とても楽しい時間を皆で過ごしました。

デイサービス日誌

1月3日(水)

利用者数 9名(男1名 女8名)
 レクリエーション 福笑い

大きな画用紙いっぱい描いたおかめの顔に、目隠しをした利用者さんが、目・鼻・口・まゆげをバランスよくのせていき、最後に目隠しを取って、自分の作ったおかめの顔を見て大笑いする、福笑いをしました。周りの方たちは、「もっと右だよ、下!もっと下!」などと言いながら見物して、出来上がった顔に大笑いしました。

デイサービス日誌

1月6日(土)

利用者数 11名(男4名 女7名)
 レクリエーション リズム体操

「あんたがたどこさ、肥後どこさ、熊本さ…」の歌に合わせて、手拍子を打ちながら「さ」の時だけ、違う事をするリズム体操を行いました。1回目は、「さ」の時に両手を頭の上のにせる動作を行い、2回目は、「さ」の時に足踏みをするなど動作を変えたり、また少し慣れてきたらリズムを早くするなどして、頭と体を使った体操を行いました。

デイサービス日誌

1月17日(水)

利用者数 9名(男1名 女8名)
 レクリエーション キャッチゲーム

今日は、キャッチゲームを行いました。利用者さんが桶を持ち、職員が投げたピンポン玉やお手玉をキャッチするゲームです。桶に入った数で勝ち負けを競いました。ピンポン玉は、桶に入るとはねてしまい、なかなか入らず苦勞する方もいましたが、コツをつかむと皆さん上手にキャッチしていました。

デイサービス日誌

1月30日(火)

明翠苑居宅介護 支援センターだより

石岡市半ノ木一―四八―一―
TEL 〇二九九―二三―九六三四

居宅介護支援事業の改正

この度、平成三十年四月より、介護保険制度の見直しが行われます。今回は、その中の「居宅介護支援事業の改正」について、一部を紹介致します。

① 指定権限の委譲

これまでは、居宅介護支援事業（介護保険制度のケアマネジメントシステムを用いて、利用者様の在宅生活をお手伝いすることを「事業）」を行う際、県の指定を受けていましたが、本年四月より、指定権限が、市町村に移ります。住み慣れた地域での生活を継続するという根本的考えを鑑みると、指定権限者が、県から市町村に移行するの

は、妥当と言える
と考えます。

② ケアマネジ
メント力の向上

居宅介護支援

事業を行う上で、

重要となるのが、

ケアマネジメン

ト（利用者様が

生活する上での

希望や課題に対して、効果的かつ効率

的なサービスや資源を提供し、その結

果を継続的に評価すること）力です。

この管理者として、以前は、介護支援

専門員がその任に従事していましたが、

猶予期間を経て、「主任介護支援専門

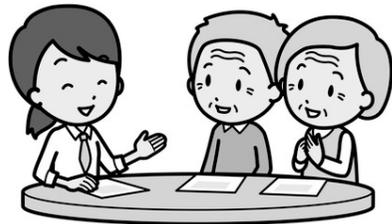
員」に変更になります。主任介護支援

専門員とは、一定期間の実務を行い、

規定の研修を終了した者を指します。

この者が管理運営を行うことで、ケア

マネジメント力の向上を図るといふ目



的と考察します。

③ 医療連携の強化

ご利用者様が、医療系のサービスの利用をする場合は、ケアプラン（ご利用者様の希望する生活等を実現する為の具体的方策等を記したもの）に明示し、利用者様の同意を得て、医師にケアプランを交付します。これにより、医療系サービスの位置づけが明確になり、連携の強化が成されるものと考えます。

紙面の関係上、ほんの一部の紹介となりますことお詫び申し上げます。介護保険制度の根幹をなすのは、皆様のご意見「パブリックコメント」です。民主主義のわが国を支える活力源である皆様のご意見を今後も賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ケアマネジャー 岡野 貴

私の^{メニュー}MENU

☆キャベツ入り卵焼き (1人分 エネルギー140kca 塩分0.8g)

今年の冬は厳しい寒さで野菜が高騰してしまいました。もうじき3月、そろそろ値段が安定するかも…という願いを込めてキャベツを使った簡単卵焼きを紹介します。

●材 料 (3~4人分)

- ① 卵(Mサイズ) 4個 / キャベツ 1/6玉 / 魚肉ソーセージ 1本
 コーン缶 大きじ2杯 / 塩、こしょう 少々
 油、ソース

●作り方

- ① キャベツは洗って千切りにします。(あまり細くなくてもOK)
- ② 魚肉ソーセージはたて半分にし、厚さ3mm程度のななめ切りにする。
- ③ 卵をときほぐし、①の材料をすべて混ぜます。
- ④ フライパンに油をひき、中火にかけ③を流し入れます。ふたをして様子を見ながら火を加減して下さい。焼いている方がきつね色になってきたら返し、弱火でじっくり焼いて下さい。
- ⑤ 全体に火が通ってキャベツがしんなりしたら出来上がりです。ソースをかけてお召し上がり下さい。好みでマヨネーズをそえてもおいしいです。

管理栄養士 飯田 仁美

今月のことば 33

世の中は一つかなえばまた一つ
 三つ四つ五つ六つかき世や

ご利用をお待ちしています

養護老人ホーム	滴	翠	苑
救護施設	慈	翠	館
特別養護老人ホーム	明	翠	苑
ユニット型特別養護老人ホーム	明	翠	苑
ショートステイ施設	明	翠	苑
独立型デイサービスセンター	華	翠	会館
明翠苑居宅介護支援センター			

職員募集中 詳しくはホームページ又は施設へご連絡下さい

医療法人 高木 医院
 宗教法人 時宗 華園 寺



社会福祉法人 滴 翠 会 <http://tekisukai.or.jp/>